



台湾中央気象署

Central Weather Administration



●職員数 約571人 ●うち研究者 約49人

ホームページ <https://www.cwa.gov.tw/V8/C/>

交流協定締結年月日：2017年8月16日

主管学部：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構



外観



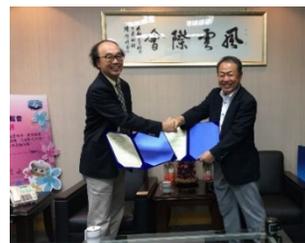
予測センター

国際交流の特色

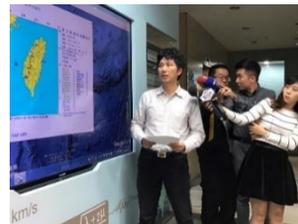
台湾交通部中央気象署(CWA)は日本の気象庁に相当する機関で、14部局、4管理部門、研究開発センターで構成され、加えて7つの独立運営センター、25の気象ステーション、4つの気象レーダーステーションと天文台を擁し、台湾の気象、地震、関連する海洋及び天文のオペレーションを行っています。

交流実績（令和3年度～令和5年度）

| 年度 | R3 | R4 | R5 |
|------------------|----|----|----|
| 受入・派遣 | | | |
| 学生の受入 | 0 | 0 | 0 |
| 学生の派遣 | 0 | 0 | 0 |
| 研究者・職員の受入 | 0 | 0 | 0 |
| 研究者・職員の派遣 | 0 | 1 | 2 |
| オンライン交流参加者（本学） | 15 | 11 | 0 |
| オンライン交流参加者（相手機関） | 61 | 1 | 0 |



協定調印式



教員からの声

台湾では日本と同様に多くの被害地震や台風被害が発生しています。1999年には台湾中西部を震源とした集集地震が発生し、2,400人以上の地震犠牲者が出ています。また、2009年には台風8号により750人規模の犠牲者が発生し、台湾南部の高雄県小林村が大規模土砂災害で亡失しています。さらに、2024年には台湾東部の花蓮沖およそ25キロの海域でM7.2の地震が発生し、大きな被害が出ました。

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構は中央気象署と共同して減災研究を行うことで、今後の地震津波被害等の軽減に関する様々な課題の解決を目指しています。中央気象署内には多くの展示物があり地震体験も可能です。

2024年も、地震被災地を訪問し、海底観測網設置・活用に関するアドバイスならびに減災セミナー・シンポジウムでの意見交換を通じて、相互の減災科学を推進しています。

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
特任教授 金田義行



施設・活動